

## 東京で柳川の食や観光などをPR

県アンテナレストランで初の自治体イベント

市と柳川ブランド推進協議会は、9月2日から14日まで東京半蔵門にある福岡県アンテナレストラン「福扇華」で、初の自治体イベント「柳川フェアin福扇華」を開催しました。

今回のイベントでは、柳川自慢の「うなぎのせいろ蒸し」や「クチゾコの煮付け」など地元でしか味わえない料理や銘酒をはじめ、柳川ブランド認定品の販売、柳川さげもんの展示などさまざまな名産・特産品を東京でPRしました。イベント初日には、約30人の在京の来賓を招き、オープニングイベントを開催。金子



柳川の魅力を説明する金子市長



柳川ブランド認定品の販売

市長が歴史や文化、観光、特産の他、様変わりした西鉄柳川駅周辺やNHK大河ドラマ招致活動など今の柳川を紹介しました。また、柳川ブランド推進協議会を構成する農業や水産業、商工業、観光の各団体も参加。招待した各関係団体の皆さんに、柳川料理や食材、特産品、伝統工芸品などをPRし、直接関係者へ売り込みました。



福岡県アンテナレストラン「福扇華」

ら、柳川特産品の全国への販路拡大、また観光客の誘致に向けて、首都圏をはじめさまざまな場所で柳川ファン獲得に向けた取り組みを進めていきます。問い合わせは、市商工・ブランド振興課ブランド推進係（☎77・8722）まで。

福岡県アンテナレストラン「福扇華」

昨年11月、福岡県初のアンテナレストラン「福扇華」が東京半蔵門にオープン。県産食材をふんだんに使用した料理の提供や特産品の販売をするともに、内装には県産木材や多くの伝統工芸品があしらわれている福岡県の魅力発信の新拠点。

## 柳川観光大使17人が全員集合

琴奨菊関や北山たけしさんをはじめとする

柳川観光大使が一堂に集まる「柳川観光大使の夕べ」が、9月2日、東京の県アンテナレストラン「福扇華」で開催されました。

この日は、琴奨菊関や北山たけしさん、囲碁棋士の大淵盛人さん、演出家の田中はく



柳川の魅力を発信する観光大使の皆さん

どうさん、俳優の江口信さん、レーシングドライバーの井口卓人さんなど、柳川観光大使17人が一堂に会しました。観光大使の夕べは、二部構成で行われ、一部では座談会として、柳川観光の取り組みなどを酒見副市長が紹介。次に、市が取り組みを始め全国的に広まっている「やさしい日本語ツアー」について、電通ダイバーシティー・ラボプロデューサーの吉開章さん（本市出身）が取組内容を紹介しました。

続いて、9月2日付けで観光大使となった、歴史家の加来耕三さんと中村学園大学・短期大学部の三堂徳孝教授がそれぞれ講演。加来さんは、NHK大河ドラマ招致について宗茂・閻千代の魅力を「立花宗茂という武将は生涯一度も戦で負けていない。また、妻の閻千代も非常に魅力的になりうる」と語りました。また三堂教授は、むつころうランドに開校した「やながわ食の学校」について「自分も柳川出身として思うが、地元には魅力的な食材が数多く眠っている。それらを活用して柳川独自のメニューを開発し、日本や海外へ情報発信していきたい」と話しました。

第二部では交流会が行われ、参加した大使の皆さん全員が、一人ずつ活動を報告しました。その後、音楽家の高山佳子さんやバリンソン歌手の山本健二さんが北原白秋の歌を披露。また琴奨菊関が9月場所に向けての抱負を語り、最後は北山たけしさんが「まつり」を熱唱。会場は大いに盛り上がりしました。問い合わせは、市観光課観光推進係（☎77・8563）へ。

## 柳川観光大使の與田博利さん 8月にご逝去

故郷柳川のためにコミュニティバス・べにばな号6台を寄付

與田博利さん



與田博利さん

市出身で山形県山形市の株式会社山形ビルサービス企業グループの創業者、與田博利さんが8月26日、88歳でご逝去されました。ご生前のご功績をしのび、心からご冥福をお祈り申し上げます。

與田さんは、昭和7年3月に東蒲池に生まれ、幼い頃に父を亡くし、母の手で育ちました。大学卒業後、友人からの誘いで山形市でビルメンテナンス業を創業。当初経営は思うようにはいかず苦難が続きましたが、現在はグループ企業の社員数が700人を超えるまでに成長しました。「多くの方に支えてもらいました」と大学に進学する山形県内の高校生を対象に奨学金を給付する教育財団を設立し、社会貢献に力を注がれました。

故郷柳川へも母校の蒲池小・中学校への寄付やソーラーポート大会への協賛などで貢献されました。さらにコミュニティバスの普及や路線拡大に向けて、3度にわたりバスを寄付。これまで合計7420万円を柳川市にご寄付いただきました。この他は、平成14年から柳川観光大使として水郷柳川のPRにも尽力されました。



山形県の県花に由来する「べにばな号」

## 令和元年9月2日に就任した柳川観光大使を紹介

かく こうぞう 加来 耕三さん



昭和33年生まれ（60歳）、大阪市出身。奈良大学卒業後、現在は東京都練馬区在住。歴史家・作家として著作活動を行う傍ら、講演やテレビ・ラジオの番組監修や出演など幅広い分野で活躍。

雑誌『歴史研究』編集委員。

今年6月1日、本市において「奇跡の戦国武将・立花宗茂～関ヶ原敗戦からの復活～」と題した講演会などを行う。ポプラ社出版の『戦国人物伝 立花宗茂』の企画・構成・監修と原作を担当。NHKBSプレミアム「英雄たちの選択」で立花宗茂が取り上げられた際のコメンテーターを務める。

みどう のりたか 三堂 徳孝さん



養学科教授を務める。

昭和27年生まれ（67歳）、柳川市出身。中村学園大学卒業後シェフとして活躍。ロイヤルパークホテル・三菱開東閣・赤坂迎賓館料理長を務めた。現在、中村学園大学・短期大学部食物栄養学科教授を務める。

平成26年度から毎月12月に市内で行われる両開漁協「新海苔フェア」で新しい海苔料理の試食会を開催。今年7月には、市と中村学園大学の連携協定の締結に尽力するとともに、7月31日に開校した「やながわ食の学校」の学校長に就任。